

令和3年度畜産・酪農生産力強化対策事業(繁殖性等向上対策のうち効率的な生産体系の確立に向けた技術支援)の概要

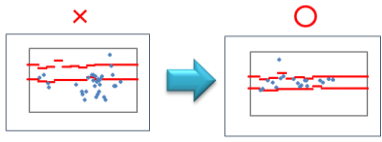
- 最新の技術を得た畜産技術者の指導の下、地域内での繁殖雌牛の増頭に向けた技術的なボトルネックの解決を図ることが重要
- このための地域の創意工夫に基づく取組に必要な器具・装置の導入等を支援(補助率:1/2以内)



肉用牛を対象とした地域における技術の実証

繁殖性の向上

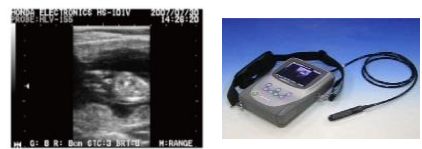
・繁殖雌牛の健康管理



(例)MPTによる血中グルコース濃度の適正化

血液検査により、牛群の健康状態を把握し、飼料分析結果に基づく飼料の栄養バランスを調整すること等により受胎率の向上を図る。

・効率的な受胎の確保



早期の妊娠確認等を行うために超音波画像装置等を利用し、空胎期間の短縮等を図る。

・効率的な受精卵の生産等の取組



超音波画像装置を用い、OPU技術を活用し、ウシ生体卵から卵子を採取し、受精卵の生産性の向上を図る。また、ホルモンを用いた排卵の同期化を行うことにより、妊娠率の向上を図る。

* 繁殖関連機器等は本事業では対象となりません



ICT等を活用した繁殖管理機器(発情発見装置、分娩監視装置等)の整備は、「畜産経営体生産性向上対策事業(畜産ICT事業)」で助成対象となります。

子牛の損耗低減対策

・子牛の健康管理

血液検査により、牛群の健康状態を把握し、飼料の栄養バランスを調整すること等により、子牛の損耗率の低減を図る。

・子牛の個別管理

カーフハッチ等により、子牛を個別に隔離、管理することで、病気の蔓延等による子牛の損耗率の低減を図る。



・哺乳ロボット等の整備

代用乳の少量多回給与により、子牛の消化機能への負担を軽減し、給餌性の下痢を減らすこと等により、子牛の損耗率の低減を図る。



・飼養環境の改善等

飼養環境の改善等との一体的取組により、子牛の損耗率の低減を図る。



肥育用の雌牛等を用いた増頭対策



F1雌牛や更新予定の高齢雌牛に対して、和牛の受精卵の移植を行い、和子牛の生産(増産)への取組を図る。

最新の技術を得た畜産技術者の下で、地域における課題解決のための技術実証により和牛子牛の生産拡大を図る